

		河東節度使兼北都留守領太原遼嵐石汾代忻朔蔚雲九州治太原
至德元年	王承業	太原尹 ◎河東節度使王承業軍政不修，朝廷遣侍御史崔衆交其兵，尋遣中使誅之，衆侮易承業，光弼素不平。至是，敕交兵于光弼，衆見光弼，不為禮，又不時交兵，光弼怒，收斬之，軍中股栗。
	1	李光弼 朔方軍節度副使李光弼為雲中[雲]太守攝御史大夫充河東節度副大使知節度事
	2	李光弼 李光弼、郭子儀將兵東出井陘，與賊將史思明戰，大破之，進取郡縣十余
	3	李光弼 河東節度使李光弼為御史大夫范陽長史范陽節度使
	7	李光弼 以李光弼為戶部尚書北都留守同平章事餘如故
至德2年	2	李光弼 ◎河東節度使李光弼大破賊將蔡希德之衆于城下，斬虜七萬，軍資器械稱是。
	12	李光弼 銀青光祿大夫守司徒兼戶部尚書同中書門下平章事兼御史大夫鴻臚卿太原尹北京留守河東節度副大使薊國公李光弼司空兼兵部尚書門下平章事進封鄭國公食實封八百戶
乾元元年	8	李光弼 河東節度使李光弼來朝，加侍中
	9	李光弼 步騎二十萬討慶緒
乾元2年	7	李光弼 趙王係為天下兵馬元帥，司空兼侍中李光弼為副
	7	王思禮 兵部尚書潯州大都督府長史潯沁節度靈國公王思禮兼太原尹充北京留守河東節度副大使
乾元3年	閏4	王思禮 河東節度副大使王思禮為司空 ◎皇族以外で平章事を經ずに三公となった初例
上元2年	5	王思禮 北京留守守司空太原尹河東節度副大使靈國公王思禮卒
	5	管崇嗣 鴻臚卿趙國公管崇嗣為太原尹兼御史大夫充北京留守河東節度副大使 →？
	10	鄧景山 →尚書左丞→即日太原尹河東節度使南陽郡公
元年	建卯	鄧景山 河東軍亂，殺其節度使鄧景山 ◎王思禮卒後、無能な軍人管崇嗣が代り、政寛弛のため軍資が散逸してしまいました。そこで有能厳酷な文官鄧景山に代り、厳しい締め付けが行われました。將士は不正を重ねていたため懼れて乱し景山を殺し、軍人の辛雲京を擁立しました。
	建卯	辛雲京 河東軍亂，代州刺史都知兵馬使辛雲京自稱節度使。絳州では李國貞も乱殺され姑息な唐朝は北都留守河東節度使としました。
	5	辛雲京 ◎郭子儀が絳州の軍乱を収めたことを聞き、雲京も乱者を誅して肅清しました。
寶應2年	辛雲京	◎雲京は安史の乱の收拾に関して副元帥僕固懷恩と対立し誣告しています。
廣德2年	1	辛雲京 ◎僕固懷恩は河東都將李竭诚を指嗾して雲京に反させましたが失敗し、子僕固瑒に攻めさせましたが撃退されました。
	9	辛雲京 河東節度使辛雲京檢校尚書右僕射同中書門下平章事太原尹北京留守
永泰元年	辛雲京	
大曆元年	辛雲京	
大曆2年	辛雲京	
大曆3年	8	辛雲京 河東節度使檢校左僕射太原尹同中書門下平章事辛雲京卒
	8	王縉 門下侍郎同中書門下平章事兼幽州長史持節河南副元帥都統河南淮南西山南東道諸節度行營兼幽州盧龍等軍節度使太微宮使弘文館大學士兼東都留守齊國公王縉兼太原尹北都留守充河東軍節度，余官使並如故
大曆4年	6	王縉 罷副元帥都統行營節度事
	9	王縉 河東兵馬使王無縱、張奉璋等は、王縉が文官であることから驕慢で、防秋への派遣に応じませんでした。縉は諸將の従わないものを誅殺しました。
大曆5年	4	王縉 王縉自太原入朝
	7	薛兼訓 浙東觀察使趙州刺史御史大夫薛兼訓為檢校工部尚書太原尹北都留守充河東節度使
大曆6年	薛兼訓	
大曆7年	薛兼訓	
大曆8年	薛兼訓	
大曆9年	薛兼訓	
大曆10年	4	薛兼訓 河東、鎮冀、幽州、淄青、淮西、滑亳、汴宋、澤潞、河陽が魏博田承嗣を征討します。
大曆11年	12	薛兼訓 北都留守薛兼訓病故 →？
	12	段秀實 涇原節度副使試太常卿張掖郡王段秀實權知河東節度留後 →？
大曆12年	3	鮑防 太原少尹河東節度行軍司馬權知河留後鮑防為太原尹御史大夫充北都留守河東節度使
大曆13年	1	鮑防 ◎回紇寇并州。河東節度留後鮑防は回紇に陽曲で大敗しました。回紇練兵大掠
	2	鮑防 代州都督張光晟が回紇を羊武谷に破り回紇を撃退しました。
大曆14年	閏5	鮑防 河東節度留後鮑防為京畿觀察使
	閏5	馬燧 河陽三城鎮使馬燧檢校工部尚書，兼太原尹，御史大夫，北都留守，河東節度使 ◎馬燧は回紇との敗戦において潰滅した騎兵軍を再建し、軍備を強化しました。
建中元年	馬燧	
建中2年	1	馬燧 魏博節度使田悅反，神策李晟、河東馬燧、昭義李抱真、河陽李芑が征討します。
	7	馬燧 馬燧、李抱真及田悅戰於臨洛，敗之
	11	馬燧 馬燧及田悅戰於雙岡，敗之
	12	馬燧 河東節度使馬燧檢校左僕射，為魏博招討使
建中3年	閏1	馬燧 馬燧、李芑破田悅兵于洹水，進攻魏州
	5	馬燧 加河東節度使檢校左僕射馬燧同平章事
	6	馬燧 李懷光、馬燧、李芑、李抱真及朱滔、王武俊、田悅戰于連蔭山，敗績

	7	馬燧	河東節度使馬燧兼魏博、潼關節度使
建中4年		馬燧	
興元元年	8	馬燧	河東保寧軍節度使太原尹北都留守檢校司徒平章事北平郡王馬燧為奉誠軍晉絳慈隰節度行營兵馬副元帥、 渾瑊と馬燧各出師討懷光
	10	馬燧	馬燧拔絳州，分兵取聞喜、萬泉、虞鄉、永樂、猗氏。
			賜河東節度使保寧軍節度
貞元元年	3	馬燧	馬燧軍于寶鼎，敗懷光兵于陶城，斬首萬餘級，分兵會渾瑊，逼河中
	4	馬燧	馬燧、渾瑊為河中招撫使
	6	馬燧	馬燧及李懷光戰于陶城，敗之
	7	馬燧	◎朔方大將牛名俊斬李懷光，傳首闕下。馬燧收復河中。
	7/8	馬燧	河東節度使檢校司徒同平章事馬燧兼侍中一子五品正員官
貞元2年	12	馬燧	馬燧為綏銀麟勝招討使
貞元3年		馬燧	燧は宰相張延賞とともに吐蕃との和約を勧め、李晟は反対しました。徳宗は燧を支持し、 渾瑊を清水に派遣し和約を進めましたが、吐蕃は違約して使節を捕らえようとした。そのため燧は失脚し兵権を解かれました。
		馬燧	檢校司徒、侍中馬燧為司徒兼侍中、以賞吐蕃之盟失策而罷兵柄也
	6		保寧軍節度復為河東節度
	6	李自良	左龍武將軍李自良為檢校工部尚書兼御史大夫太原尹北都留守河東節度度支營田觀察等使
	7		◎夏綏銀節度使を置き、朔方、河東兵を鎮夏州
貞元4年		李自良	
貞元5年		李自良	
貞元6年		李自良	
貞元7年		李自良	
貞元8年		李自良	
貞元9年		李自良	
貞元10年		李自良	
貞元11年	5	李自良	河東節度使檢校工部尚書太原尹李自良卒
	5	通王謹/	通王謹為河東節度使
	5	李說	河東行軍司馬李悅為河東節度營田觀察留後、北都副留守 ◎悦は監軍王定遠の後援を得て就任、そのため定遠は横暴となり実権をにぎろうとして、 7月騒乱を起こしました。
貞元12年	1	李說	河東節度度支營田觀察留後太原尹兼御史大夫北都副留守李 說檢校工部尚書
	9	李說	◎河東行軍司馬李景略は 威權があり、説は職を奪われるのを懼れて 豊州刺史天德軍豐州西受降城都防禦使に出しました。
貞元13年		李說	
貞元14年		李說	
貞元15年		李說	
貞元16年	10	李說	河東節度使檢校禮部尚書太原尹兼御史大夫北都留守李悅卒
	10	鄭儼	河東行軍司馬鄭儼檢校工部尚書太原尹河東節度使
貞元17年	8	鄭儼	檢校工部尚書太原尹河東節度使鄭儼卒
	8	嚴綬	河東行軍司馬嚴綬銀青光祿大夫檢校工部尚書兼太原尹御史大夫河東節度支度營田觀察使 ◎姑息な徳宗皇帝は方鎮の継承時の騒乱を懼れて、事前に行軍司馬として後任を配置し、昇格させるというシステムをとっています。
貞元18年		嚴綬	
貞元19年		嚴綬	
貞元20年		嚴綬	
永貞元年		嚴綬	
	?	撫王絃?	開府儀同三司北都留守太原尹河東節度使
元和元年	3	嚴綬	◎夏綏韓全義入朝後、甥楊惠琳が反したため、河東、天德兵が派遣され鎮圧しました。
	9	嚴綬	◎西川劉闢の反乱討伐に河東軍[李光顏等]が参加しました。
元和2年		嚴綬	
元和3年		嚴綬	
元和4年	3	嚴綬	嚴綬為左/右僕射 ◎在鎮が九年に及び、軍政は監軍李輔光が専権していました。
	3	李鄴	鳳翔節度使李鄴為河東節度使
	6	李鄴	河東節度使李鄴為刑部尚書以充諸道鹽鐵轉運使
	6	范希朝	靈鹽節度使范希朝為太原尹北都留守河東節度使 ◎強兵の沙陀軍を靈武に置いておくと、吐蕃につく危険があるため、希朝に従わせて河東へ移しました。河東軍騎兵は著しく強化されました。 五代の「後唐」李克用の元です。
元和5年	1	范希朝	◎河東、河中、振武、義武四軍為恆州北道招討として成徳王承宗征討にあたりました。
	4	范希朝	◎河東范希朝は成徳軍を木刀溝に破ったと報告しました。
	7	范希朝	加河東節度使范希朝檢校司徒

	11	范希朝	→
	11	王鐔	前河中節度使王鐔檢校司空兼太子太傅太原尹北都留守河東節度使 ◎貪欲ですが能政の王鐔は損耗した河東軍を再建し、その功をいいたてて同平章事を求めましたが、宰相李絳に止められます。
元和6年		王鐔	
元和7年		王鐔	
元和8年	10	王鐔	◎振武の軍乱に鎮圧兵を派遣しました。
元和9年	9	王鐔	加河東節度使王鐔檢校司空同平章事
元和10年	2	王鐔	河東防秋將劉輔殺天德豐州刺史燕重珣、王鐔誅之及其黨
	12	王鐔	河東節度使王鐔卒
元和11年	1	張弘靖	中書侍郎平章事張弘靖檢校吏部尚書同平章事兼太原尹北都留守河東節度使
	1	張弘靖	◎河東、河北道諸鎮加兵進討成德王承宗
元和12年		張弘靖	
元和13年		張弘靖	
元和14年	5	張弘靖	河東節度使檢校吏部尚書同平章事張弘靖為吏部尚書
	4	裴度①	金紫光祿大夫門下侍郎同中書門下平章事兼弘文館大學士上柱國晉國公食邑三千戶裴度可檢校左僕射兼門下侍郎平章事太原尹北都留守充河東節度觀察處置等使 ◎皇甫鎔との政争に負け、憲宗の信任を失った裴度が出されました。しかし功臣ですので門下侍郎という格式はついています。
元和15年	9	裴度①	加河東節度使金紫光祿大夫檢校尚書右僕射兼門下侍郎同平章事太原尹北都留守上柱國晉國公食邑三千戶裴度守司空門下侍郎同平章事
長慶元年	8	裴度①	河東節度裴度充幽鎮兩道招撫使
		裴度①	憲宗皇帝が推し進めた全国再統一は、ほんくら穆宗皇帝や宰相達の失態によりすぐ崩壊し、幽州張弘靖は朱克融に囚われ、成徳田弘正は王廷湊に殺されてしまい、やがて魏博も失われます。文官の裴度も別に軍事に秀でているわけでもなく打つ手はありません。
	10	裴度①	河東節度使裴度充鎮州四面行營都招討使
		裴度①	河東節度領押北山諸蕃使
長慶2年	2	裴度①	河東節度使司空兼門下侍郎平章事裴度守司徒平章事充東都留守判東都尚書省事都畿汝防禦使太微官等使 ◎征討の責がなく、姑息な穆宗・宰相達は總大将たる裴度の兵権をはずして妥協をはかります。
		李聽	前靈武節度使李聽為檢校兵部尚書太原尹北都留守河東節度使
長慶3年		李聽	
長慶4年		李聽	
寶曆元年	閏7	李聽	前河東節度使李聽為義成軍節度使
	7	李光顔	忠武軍節度使守司徒兼侍中李光顔為太原尹北京留守河東節度使
寶曆2年	9	李光顔	河東節度使守司徒兼侍中李光顔卒
	9	李程	中書侍郎平章事李程為檢校兵部尚書同平章事北都留守河東節度使
太和元年		李程	
太和2年		李程	
太和3年		李程	
太和4年	3	李程	河東節度使李程檢校左僕射同平章事兼河中尹晉絳慈隰等州節度使
	3	柳公綽	刑部尚書柳公綽檢校左僕射太原尹北都留守河東節度使 ◎公綽は沙陀酋長朱邪執宜を厚遇し北邊の安定を図りました。
太和5年		柳公綽	
太和6年	3	柳公綽	前河東節度使柳公綽為兵部尚書
	2	令狐楚	天平軍節度郭曹濮等州觀察使令狐楚檢校右僕射兼太原尹北都留守河東節度使
太和7年	6	令狐楚	前河東節度使令狐楚檢校右僕射兼吏部尚書
	6	李載義	守太保同平章事山南西道節度使李載義為守太保同平章事太原尹北都留守河東節度使
太和8年		李載義	◎蕃族との対応にたれた前幽州節度の李載義は回紇使節の横暴を制しました。
太和9年		李載義	
	11	王璠/	戸部尚書判度支王璠為太原尹北都留守河東節度使 ◎赴任する間もなく甘露の宴に連座して殺害されてしまいました。
開成元年		李載義	河東節度使同平章事李載義兼侍中 →復任
開成2年		李載義	
	5	裴度②	守司徒中書令東都留守裴度為守司徒中書令太原尹北都留守河東節度使
開成3年	12	裴度②	河東節度觀察處置等使開府儀同三司守司徒兼中書令太原尹北都留守上柱國晉國公食邑三千 戶實封三百戶裴度可守司徒中書令
	12	狄兼謨	兵部侍郎狄兼謨為檢校工部尚書太原尹河東節度使
開成4年		狄兼謨	
開成5年	?	狄兼謨	→尚書左丞
	?	符澈	? →檢校兵部尚書御史大夫北都留守太原尹河東節度使琅邪郡侯
會昌元年	9	符澈	詔河東、振武嚴兵以備回紇
會昌2年	2	符澈	◎河東節度使符澈修把頭烽燧成以備回鶻 ◎回紇の危機が迫る中で疾辭、巡邊使李拭により振武劉沔が推薦されました。
	3	劉沔①	振武麟勝節度使銀青光祿大夫檢校尚書右僕射單于大都護兼御史大夫彭城郡開國公食邑二千戶劉沔可檢校右僕射兼太原尹北京留守充河東節度管内觀察處置等使

	6	劉沔①	◎河東節度使劉沔及回鶻戰於靈州，敗績
	7	劉沔①	◎嵐州人田滿川據郡叛，劉沔誅之
			回紇帝國が内紛により崩壊して、可汗を含む大集団が唐の北邊になだれこもりました。同盟関係にあったはずの唐はその侵入を防ごうとしています。
	8	劉沔①	◎幽州・河東・振武・天德軍は回紇に対して防衛にあたりました。
會昌3年	2	劉沔①	◎石雄の活躍もあり回紇を大破し、残部は幽州・河東などに潰乱して收容されました。
	5	劉沔①	◎河東節度使劉沔歩騎二千守芒車關、昭義劉稹の反に備えています。
	10	劉沔①	河東節度使劉沔檢校司空兼滑州刺史御史大夫充義成軍節度鄭滑觀察等使 ◎劉沔と幽州張仲武は回紇征討の功を争い、険悪な状態になったため、昭義の乱に備えて唐朝は劉沔を転任させました。
			河東節度鄭滑觀察三州
	10	李石	荆南節度使檢校右僕射同平章事李石可檢校司空平章事兼太原尹北都留守充河東節度管内觀察等使
會昌4年	1	李石	都將楊弁逐太原節度使李石 ◎河東軍主力は対劉稹征討に出動していました。太原の防衛が手薄なため横水成卒を呼び寄せましたが、与える軍資がなく、不服な楊弁達は蜂起し剽掠城市して石を逐いました。 ◎主力軍は監軍呂義忠を擁して乱軍を鎮圧し、弁等は誅殺されました。
	2	李石	李石為太子少傅分司
	2	崔元式	河中晉絳慈隰等州節度觀察等使中散大夫檢校左散騎常侍河中尹御史大夫上柱國博陵縣開國男食邑三百戶崔元式可檢校禮部尚書兼太原尹北都留守充河東節度觀察等使 →?
	?	崔元式	→刑部尚書判度支/義成節度使
	?	劉沔②?	檢校司徒義成軍節度使 →?
	9	王宰	志武軍節度陳許蔡等州觀察處置等使河陽行營諸軍招討使金紫光祿大夫檢校尚書右僕射兼御史大夫上柱國太原郡開國公食邑二千戶王宰檢校司空太原尹北都留守充河東節度管内觀察處置等使
會昌5年	7	王宰	◎詔河東節度使王宰以歩騎一千守石會關、備昭義軍乱
會昌6年		王宰	
大中元年	5	王宰	◎吐蕃、回鶻餘衆寇河西，河東節度使王宰伐之、宰以沙陀朱邪赤心為前鋒，自麟州濟河，與恐熱戰于鹽州，破走之
大中2年	9	王宰	→加檢校司徒
大中3年	4	王宰	河東節度使王宰入朝
大中4年	?	王宰	光祿大夫檢校司徒太原尹北都留守御史大夫河東節度使上柱國太原郡公 2000戸→河陽節度使
	9	李拭	朝請大夫檢校禮部尚書孟州刺史河陽三城節度使李拭為太原尹北都留守河東節度等使
	12	李拭	河東節度使李拭為招討黨項使
大中5年	5	李拭	太原尹河東節度使李拭為鳳翔節度使
	5	李業	鳳翔節度使李業檢校戸部尚書太原尹北都留守充河東節度使
大中6年	6	李業	◎河東節度使李業縱吏民侵掠雜虜，又妄殺降者，由是北邊擾動
	7	李業	→徙義成節度使
	7	盧鈞	檢校司空太子少師上柱國范陽郡開國公食邑二千戶盧鈞可太原尹北都留守河東節度使
大中7年		盧鈞	
大中8年		盧鈞	
大中9年	7	盧鈞	河東節度使檢校司空太原尹北都留守上柱國范陽郡開國公食邑三千戶盧鈞守尚書右僕射
	9	鄭涓	昭義節度使檢校禮部尚書兼潞州大都督府長史御史大夫上柱國賜紫金魚袋鄭涓檢校刑部尚書太原尹北都留守御史大夫充河東節度管内觀察處置等使
大中10年		鄭涓	→?
	?	劉瑑	檢校工部尚書御史大夫宣武軍節度使 →朝議大夫檢校禮部尚書河東節度使
大中11年	12	劉瑑	→朝議大夫戸部侍郎判度支
	12	畢誠	昭義軍節度使朝議大夫檢校工部尚書上柱國平陰縣開國男食邑三百戶畢誠為太原尹北都留守河東節度使
大中12年		畢誠	
大中13年	10	畢誠	河東節度使檢校尚書左僕射畢誠為汴州刺史充宣武軍節度宋亳觀察等使
	10	裴休	昭義軍節度潞邢磁洛觀察等使光祿大夫檢校吏部尚書兼潞州大都督府長史上柱國河東縣開國子食邑五百戶裴休為太原尹北都留守河東節度管内觀察處置等使
咸通元年	8	裴休	河東節度使裴休為鳳翔尹鳳翔隴右節度使
	8	盧簡求	鳳翔隴右節度使銀青光祿大夫檢校刑部尚書盧簡求為太原尹北都留守河東節度使
咸通2年		盧簡求	
	2	蕭鄴?	吏部尚書蕭鄴檢校尚書右僕射太原尹北都留守河東節度觀察等使
咸通3年		盧簡求	
咸通4年	1	盧簡求	河東節度使檢校刑部尚書盧簡求以病求罷，詔以太子少師致仕歸東都
	1	劉潼	昭義節度使檢校禮部尚書上柱國賜紫金魚袋劉潼為太原尹北都留守御史大夫充河東節度觀察處置等使
咸通5年		劉潼	
咸通6年		劉潼	
	1	孔溫裕?	河東節度使檢校刑部尚書孔溫裕為郟州刺史天平軍節度郟曹檢觀察處置等使
咸通7年	3	劉潼	河東節度使劉潼為西川節度使

	3	鄭從謹 ①	吏部侍郎鄭從謹檢校禮部尚書兼太原尹北都留守御史大夫上柱國榮陽縣開國男食邑三百戶充河東節度管内觀察處置等使
咸通8年		鄭從謹 ①	
咸通9年		鄭從謹 ①	
咸通10年	12	鄭從謹 ①	河東節度使鄭從謹赴關
	10/12	康承訓	義成軍節度使光祿大夫檢校尚書左僕射同平章事滑州刺史上柱國會稽縣開國伯食邑二千戶康承訓以本官兼太原尹北都留守充河東軍節度使
咸通11年	1	康承訓	河東節度使康承訓貶蜀王傅分司 →再貶恩州司馬同正
	1	崔彥昭	河陽三城節度孟懷澤觀察使中散大夫檢校禮部尚書孟州刺史御史大夫崔彥昭為金紫光祿大夫檢校刑部尚書太原尹北都留守河東節度觀察等使
咸通12年		崔彥昭	
咸通13年		崔彥昭	
咸通14年	2/3	崔彥昭	→兵部/吏部? 侍郎. 踏道鹽鐵轉運使 →すぐ兵部侍郎平章事判度支
	11	蕭邠	[通]右僕射蕭邠同平章事充河東節度使
乾符元年	3	崔彥昭	[旧] 河東節度使檢校尚書右僕射崔彥昭為尚書兵部侍郎充踏道鹽鐵轉運等使
	?	蕭邠	→卒?
	3	竇滂	[旧] 銀青光祿大夫京兆尹上柱國岐山郡開國公食邑三千戶竇滂檢校戸部尚書太原尹北都留守御史大夫充河東節度管内觀察處置等使
	12	竇滂	◎南詔蠻寇蜀, 詔河西、河東、山南西道、東川徵兵赴援
乾符2年		竇滂	
乾符3年		竇滂	
乾符4年		竇滂	
乾符5年	1/5	竇滂	太原節度使竇滂遣都押衙康傳圭率河東土團二千人屯代州, 軍乱 →竇滂罷免 ◎沙陀討伐のため土團=民兵が動員されましたが、賞与を求めて乱し、竇滂は鎮圧できませんでした。結局民間より金を借りて兵に賞与を与え納めることになりました。朝廷は竇滂を無能として罷免しましたが、当時河東の財政は官僚達の腐敗で破綻し、世襲化した軍の規律は緩み、討伐も民兵頼みの状況にありました。
	1/6	曹翔	前昭義節度使曹翔檢校尚書右僕射兼太原尹北都留守河東節度使
	9	曹翔	◎沙陀を征討中の曹翔が急死したため、前任の昭義から引き連れていた兵は晉陽を掠奪しました。坊市民も反撃し千餘人を殺して潰滅させました。昭義兵は曹翔の私兵のようなもので翔がいなければ盗賊同様です。
	11	崔季康	河東宣慰使權知代北行營招討崔季康檢校戸部尚書兼太原尹北都留守充河東節度代北行營招討使
	12	崔季康	◎崔季康と北面行營招討使昭義節度使李鈞は、沙陀李克用に岢嵐軍の洪谷で大敗し、鈞は戦死し、鈞を失った昭義軍は代州を掠奪しました。
乾符6年	1/2	崔季康	◎敗北した河東軍をまとめて掃蕩する途中、士気が下がっていた衙將張錯、郭融らは乱して太原を攻め、崔季康父子は殺されました。
	2/3	李侃	邠寧節度使李侃檢校戸部尚書兼太原尹北都留守充河東節度等使
	5	李侃	◎朝廷よりの賜銀の分配に不満を持った牙將賀公雅所部は乱し、三城を焚掠し、担当官を殺させました。軍紀などはありません。
	6	李侃	河東節度使李侃はまったく軍の統制がとれず、病氣と称して逃亡しました。
	8	李蔚	特進檢校司空東都留守李蔚為檢校司徒同平章事兼太原尹北都留守河東節度觀察兼代北行營招討使等使。 ◎朝廷は沙陀が代北で乱している状況で、河東軍ががたがたである状況を改善しようと、権威のある節度使として元宰相の李蔚を赴任させましたが頓死してしまいました。
	10	李蔚	太原節度使李蔚卒
	11	康傳圭	銀青光祿大夫檢校右散騎常侍河東行軍司馬雁門代北制置等使石嶺鎮北兵馬代北軍等使上柱國康傳圭檢校工部尚書兼太原尹北都留守河東節度使 ◎後任を引き受ける者もいないので軍内部の將領から康傳圭を昇格させました。
廣明元年	1		◎沙陀入雁門關, 寇忻、代。
	2	康傳圭	◎沙陀が太原に迫り、近郊の大谷 県を陥しました。康傳圭は大將伊劍、張彥球、蘇弘軫を派遣し秦城驛に防がしましたが不甲斐なく敗北しました。傳圭は怒って蘇弘軫を斬りました。張彥球は乱して太原を攻めて傳圭を殺しました。 開府儀同三司門下侍郎兼兵部尚書同平章事充太清宮使弘文館大學士延資庫使上柱國榮陽郡開國公食邑三千戶鄭從謹檢校司空同平章事兼太原尹北都留守充河東節度管内觀察處置兼行營招討使等使 ◎ついに現役の大物宰相を赴任させることにしました。有能な從謹は以前も河東節度使であったので内情に通じています。彼は条件として幕僚を指名することを求め、「小朝廷」と称される有能な少壮官僚達を揃えて赴任しました。 ◎さすがに從謹は老練有能で、軍事は張彥球に一任し、行政・軍事の統制を回復していききました。しかしそれは使府太原周辺だけで、北邊は沙陀の支配下にありませぬ。
	11	鄭從謹 ②	◎河東節度使鄭從謹以本道兵授諸葛爽及代州刺史朱孜, 使南討黃巢
中和元年	2	鄭從謹 ②	加河東節度使鄭從謹兼侍中, 依前行營招討使
	5	鄭從謹 ②	◎朝廷・宦官勢力は沙陀李國昌・克用を黃巢討伐に利用しようとし、克用は河東從謹に多額の援助を要求しました。しかし朝廷の混乱から從謹には連絡がなく、從謹は突厥、吐谷潭を率いる振武節度使契苾璋に支援を求めました。璋は克用軍を破り晉陽城に入りました。あてがはずれた克用達は陽曲、榆次を掠奪して帰還しました。
中和2年	12	鄭從謹 ②	◎河東節度使鄭從謹奏克嵐州, 執湯群, 斬之
中和3年	5	鄭從謹 ②	→檢校司空東都留守
	5	李克用	雁門已北行營節度折代蔚朔等州觀察處置等使檢校尚書左僕射代州刺史上柱國食邑七百戶李克用檢校司空同平章事兼太原尹北京留守充河東節度管内觀察處置等使 ◎京師回復の中心となった克用に河東節度使が与えられました。從謹は河東を引き渡し東都留守となることになりましたが、すでに東都など機能していませんので朝廷に戻ることにあります。
中和4年	7	李克用	就加克用階特進, 封隴西郡王 ◎朱全忠に謀殺されそうになった克用は怒り、全忠を伐とうとしましたが、下記のような克用の種々の要求を認め朝廷は宥めました。
	8		河東節度増領麟州・折代二州隴門節度・河東節度増領蔚朔三州
光啓元年		李克用	
光啓2年		李克用	

光啓3年		李克用	
	2		復領忻代二州
文德元年	4	李克用	加李克用兼侍中
龍紀元年		李克用	
			河東節度增領憲州
大順元年		李克用 張濬/ 李克用	
大順2年		李克用 張濬/ 李克用	
	7		河東節度增領靈州
景福元年		李克用	
景福2年		李克用	
乾寧元年		李克用	
乾寧2年		李克用	
		李克用	
	8/9	李克用	河東節度使開府儀同三司守太師中書令兼太原尹北都留守上柱國隴西郡王李克用為邠寧四面行營都招討使 李克用為邠寧四面行營都統。
	12	李克用	守太師中書令進封晉王食邑九千 戶改賜「忠貞平難功臣。」
乾寧3年		李克用	
乾寧4年		李克用	
光化元年		李克用	
光化2年		李克用	
光化3年	8	李克用	忠貞平難功臣河東節度管 內觀察處置等使開府儀同三司守太師兼中書令北都留守太原尹上柱國晉王食邑九千 戶食實封七百戶李克用加 實封一百戶。
天復元年		李克用	
天復2年		李克用	
天復3年		李克用	
天祐元年		李克用	
天祐2年		李克用	
天祐3年		李克用	
天祐4年		李克用	
		李存勗	





會昌元年		
會昌2年		
會昌3年	歲	以靈蔚朔三州置大同都團練使，治靈州。
會昌4年	歲	升大同都團練使為大同都防禦使。
會昌5年		
會昌6年		
大中元年		
大中2年		
大中3年		
大中4年		
大中5年		
大中6年		
大中7年		
大中8年		
大中9年		
大中10年		
大中11年		
大中12年		
大中13年	3	[通] 割河東靈、蔚、朔三州隸大同軍。
咸通元年		
咸通2年		
咸通3年		
咸通4年		
咸通5年	11	盧簡方 [旧] 大同軍防禦使盧簡方檢校工部尚書滄州刺史御史大夫充義昌軍節度滄濟德觀察等使
咸通6年		
咸通7年		
咸通8年		
咸通9年		
咸通10年	10	李國昌 [通] 懿宗皇帝は沙陀の朱邪赤心の龐島討伐の功を賞するため、靈州に大同軍を置き、赤心を節度使としましたが、召見して気に入りに左金吾上將軍とし、李國昌と賜姓しました。
咸通11年		
咸通12年		
咸通13年	5	段文楚 [旧] 天德防禦使檢校左散騎常侍段文楚為靈州刺史大同軍防禦使
	12	李國昌 [旧] 振武節度李國昌は功を恃み横暴で、勝手に官吏を殺害したために檢校右僕射靈州刺史大同軍防禦等使に遷されましたが、病と称して赴任しませんでした。
	12	盧簡方 [旧] 前義昌軍節度使で太僕卿の盧簡方を檢校刑部尚書靈州刺史充大同軍防禦等使としました。懿宗皇帝は簡方に「大同へ出もどるのは格下げに思えて不満だろうが、沙陀、羌、渾が北邊を荒らしている状況を、前任で経験豊かなお前になんとかしてほしいのだ」と頼みました。 [旧] 李國昌小男克用殺靈中防禦使段文楚，據靈州，自稱防禦留後。
咸通14年	1	盧簡方 ◎簡方は太原節度使崔彦昭、幽州節度使張公素とともに國昌を征討することになりました。
	3	盧簡方 [旧] 新除大同軍使盧簡方為軍于大都護振武節度麟勝等州觀察等使。 ◎李國昌は振武に拠っていました。ところが簡方は嵐州で卒してしまい、沙陀は代北諸軍鎮を侵掠します。
乾符元年		
乾符2年	10	李璿 前大同軍及靈朔都防禦營田供軍等使李璿檢校左散騎常侍、靈州刺史，充天德軍靈州西城中城都防禦使、本管押蕃落等使
乾符3年	?	支諱 靈中守捉使防禦使→?
	?	段文楚 →代北水陸發運使靈州防禦使
乾符4年		段文楚 新・旧唐書は宣宗皇帝以降記載が混乱しています。李國昌・克用についても混乱がひどく、克用の反乱は旧紀では咸通 13.新紀では乾符4であり、その経過や事後の処理もバラバラです。どちらかというと新紀に正確さがありますが、併記しておきます。
	9	段文楚 [新] 沙陀寇靈州朔州
乾符5年	2	段文楚 [新] 靈中守捉使李克用殺大同軍防禦使兼水陸發運使段文楚。己卯，克用寇靈州。 ◎代北は飢饉で、しかも度支からの供給も不調でしたので、文楚は軍士への供給を減らし、不満には厳法で対処していました。そのため沙陀など蕃族が大半の軍士達は不満を高め、沙陀副兵馬使として蔚州に屯していた李國昌の子克用を擁して軍乱を起こし、文楚や幕僚達を殺しました。克用の父國昌は「新使を早く任命してください。息子が従わなければ私が仇を討ちますよ」などととぼけました。司農卿支諱が大同軍宣慰使として派遣され、克用を慰撫し、太僕卿盧簡方を大同防禦使としました。
	4	盧簡方 唐朝は前大同軍防禦使盧簡方を振武節度使に、振武節度使李國昌を大同節度使とし、克用を抑えようしました。
	5	李國昌 國昌は振武・大同両鎮を併領しようとしているので、監軍を殺し制書を廃棄するなどして、大同に赴任せず、克用と合流し遼軍を陥し、軍武及岢嵐軍を攻めました。盧簡方は赴任途中の嵐州で死んでしまいました。
	6	[通] 沙陀焚唐林、崞縣，入忻州境。
	7	[旧] 滑州、忠武、昭義諸道軍が太原に終結し、前昭義節度使曹翔を主將とし、大同軍副使支諱を前鋒として沙陀を伐ちます
	8/9	李國昌 [新] 大同軍節度使李國昌は岢嵐軍を陥し、洪谷に曹翔軍を破りました。曹翔は頓死し征討軍は潰乱しました。
	10	[通] 昭義節度使李鈞、幽州節度使李可が吐谷渾・沙陀・薩葛などを動員し蔚州の國昌を攻めました。
	11	國昌は石州を攻めましたが撃退されました。
	12	河東崔季廉・招討使李鈞・昭義李鈞は國昌と洪谷に戦い大敗し、鈞は戦死しました。敗軍は代州を大掠しました。
	?	李克用 →靈州刺史兼御史大夫/檢校工部尚書大同軍節度使 ?
		升大同都防禦使為節度使。

乾符6年			國昌征討の最前線である河東節度使は絶え間ない軍乱で、節度使は次々交代し戦力になりません。隣藩の昭義軍から規律のない部隊が導入されますが、すぐ乱を起こしたよりにならないわけです。ただ幽州軍や沙陀と仲が悪い吐谷渾などの蕃族の戦力が頼りです。
廣明元年	1/2		國昌は忻代州、太原を攻めました
	4		檢校吏部尚書前太常卿上柱國隴西郡開國公食邑三千戶李琢為光祿大夫檢校尚書右僕射御史大夫充蔚朔等州諸道行營都招討使
	6		李琢、幽州李可舉、吐渾赫連鐔等軍は李國昌・克用を雲州に攻めました。
	7	赫連鐔	沙陀の一部が裏切り、李可舉等は克用を藥兒嶺に大破しました。李琢、赫連鐔も蔚州を陥し、國昌・克用は逃亡して遼東部に逃げました。吐渾都督赫連鐔為雲州刺史大同軍防禦使、吐渾白義誠為蔚州刺史、薩葛米海萬為朔州刺史。
中和元年	4	赫連鐔	前大同軍防禦使李克用檢校工部尚書、兼代州刺史、雁門已北行營兵馬節度等使。 ◎實巢討伐のため沙陀を利用しようという唐朝の政策です。克用は任命されていない大同軍防禦使となっています。
中和2年		赫連鐔	更大同節度為雁門節度領左神策軍天寧鎮觀察使、徙治代州。
		赫連鐔	振武節度使契苾琠與天德、大同共討克用。 ◎唐朝と現地河東節度鄭從讜との行き違いから、鄭從讜は振武等の蕃族を動員して沙陀・克用を伐とうとしています
中和3年		赫連鐔	賜雁門節度為代北節度。
		赫連鐔	
中和4年		赫連鐔	處代北節度、河東節度復領雲、蔚二州。
光啓元年		赫連鐔	
光啓2年		赫連鐔	
光啓3年		赫連鐔	
文德元年		赫連鐔	
龍紀元年		赫連鐔	
大順元年	2/4	赫連鐔	李克用攻雲州防禦使赫連鐔、克其東城。鐔求救于盧龍節度使李匡威、匡威大破克用軍。
	5	赫連鐔	幽州節度使李匡威為太原北面招討使、雲州防禦使赫連鐔副之
	9	赫連鐔	幽州、雲州蕃、漢兵三萬攻雁門、太原將李存信、薛阿檀擊敗之
大順2年	4	赫連鐔	李克用大舉擊赫連鐔、敗其兵于河上、進圍雲州。
	7	赫連鐔	李克用急攻雲州、赫連鐔食盡、奔吐谷渾部、既而歸于幽州。
	7	石善友	克用表大將石善友為雲州刺史大同防禦使
	?	薛志勳	克用將→檢校司空大同軍防禦使
景福元年	8	赫連鐔 薛志勳	李克用北巡至天寧軍、聞李匡威、赫連鐔將兵八萬寇雲州、克用大破
景福2年		赫連鐔 薛志勳	
乾寧元年	6	赫連鐔	[旧] 李克用攻陷雲州、執/殺大同防禦使赫連鐔
	6	薛志勳	[旧] 李克用牙將薛志勳守雲中
	9	薛志勳	[通] 克用表雲州刺史薛志勳為昭義留後
	?	李克寧	→雲州防禦使→忻州刺史
乾寧2年			
乾寧3年			
乾寧4年			
光化元年			
光化2年			
光化3年			
天復元年			
天復2年			
天復3年	5	劉再立	李克用雲州都將王敬暉殺刺史劉再立、叛降劉仁恭。克用遣李嗣昭、李存審將兵討之。仁恭遣將以兵五萬救敬暉、嗣昭退保樂安、敬暉舉衆棄城而去。
天祐元年	?	王鄴	鄴弟、汾州刺史→大同軍防禦使
天祐2年			
天祐3年			
天祐4年			

廣明元年			
中和元年	4	李克用	前大同軍防御使李克用檢校工部尚書兼代州刺史雁門以北行營兵馬節度等使。 ◎黃巢討伐のため沙陀を利用しようという唐朝の政策です。
中和2年			更大同節度為雁門節度領左神策軍天寧鎮通觀察使、徙治代州。
中和3年			賜雁門節度為代北節度。
	8	李國昌	前檢校司空兼單于都護御史大夫振武軍節度使李國昌為檢校司徒代州刺史雁門以北行營節度蔚朔等州觀察使 /代北節度使
	10	李國昌	[旧] 李國昌卒
中和4年		李國昌	唐代北節度、河東節度復領雲、蔚二州。
光啓元年		李國昌	
光啓2年		李國昌	
光啓3年	2	李國昌	[通]代北節度使李國昌薨。
文德元年			
龍紀元年			
大順元年			
大順2年			
景福元年			
景福2年			
乾寧元年			
乾寧2年			
乾寧3年			
乾寧4年			
光化元年			
光化2年			
光化3年			
天復元年			
天復2年			
天復3年			
天祐元年			
天祐2年			
天祐3年			
天祐4年			